

令和6年度 第1回吉田町総合計画等審議会（議事録）

1. 開催日時

令和6年8月28日（水）14：00～16：37

2. 開催場所

吉田町役場2階 町民ホール

3. 出席者

氏名	役職等	備考
増田 学	吉田町商工会長	
村松 直樹	ハイナン農業協同組合代表理事施専務	
松浦 光紀	南駿河湾漁業協同組合常務理事・吉田支所担当理事	
武田 高明	静岡うなぎ漁業協同組合専務理事	代理出席
田島 逸雄	吉田町社会福祉協議会長	
黒田 康弘	住吉区自治会長	
松浦 祐之	川尻区自治会長	
桐田 不二雄	片岡区自治会長（自治会連合会長）	副会長
白石 寿一	北区自治会長	
田中 啓	静岡文化芸術大学教授	会長
加藤 昭	株静岡銀行吉田支店長	
横田 渉	島田掛川信用金庫吉田支店長	
飯田 千恵子	株FM島田放送番組審議会委員	
鈴木 佐知子	特別養護老人ホーム片岡杉の子園施設長	
吉良 光陽	静岡県中部地域局長	オブザーバー

（敬称略）

※ 塚本成男委員、大石千恵子委員、岩根政次委員、松浦セツ子委員、小川政徳委員、澤野康之委員が欠席。

4. 町長あいさつ

- ・昨年度をもって、第5次吉田町総合計画が終了し、今年度から第6次吉田町総合計画に沿った事業を推進している。
- ・本日は、第5次吉田町総合計画後期基本計画の総括評価について、委員の皆様からの御意見をいただきたい。
- ・また、第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略については、今年度が計画期間の最終年度であることから、次期総合戦略の策定に向けて、委員の皆様からの御意見をいただき、反映させていきたい。

5. 委嘱状の交付

吉田町総合計画等審議会条例第10条に基づき、今回の委嘱期間を令和6年4月1日から令和8年3月31日までとする。

本来であれば、町長から委嘱状の交付をして委員になっていただくが、時間の都合上、委嘱状は机上に置く形で委嘱をさせていただく。

6. 自己紹介

事務局からの自己紹介の後、委員名簿の順に自己紹介を行った。

7. 会長、副会長の選出

前回に引き続き、静岡文化芸術大学教授の田中啓委員が会長に選出され、片岡区自治会長の桐田不二雄委員が副会長に選出された。

8. 会長、副会長あいさつ

- ・田中会長よりあいさつ。
- ・桐田副会長よりあいさつ。

9. 議事

9.1. 第5次吉田町総合計画後期基本計画総括評価報告書について

事務局より、「資料No.1 第5次吉田町総合計画後期基本計画総括評価報告書」について説明をした。

● 【○○委員】

- ・P.24学校教育の分野の「朝食を毎日食べる児童・生徒の割合」について、令和3年度以降、割合が下がってきており目標値に達成できなかった。目標値の100%に向けた具体的な取組内容は。

→【事務局】

- ・生活環境の変化や家庭の事情による部分が多い。担当課としては、学校において食育について学ぶ

機会を設けているので、今後、家庭を含めた啓発活動等により周知していくことを検討する。

→【田中会長】

- ・これだけ短い期間で数字が変化しているのは、危機感を感じる。実態として朝食を食べなくなっているのか、調べ方に問題があるのか、そのあたりを分析した上で施策を進めてほしい。

● 【○○委員】

- ・P. 28 ごみ減量・リサイクルの分野の「ごみのリサイクル率」について、目標値を達成していない。通常の方法ではあまり効果がないと感じるが、目標値の26%に向けた具体的な取組内容は。

→【事務局】

- ・担当課において、今年度中に衣類等の回収ボックスを町内に設置することを検討している。近いうちに町民の皆様へ具体的な内容を周知させていただきたいと考えている。

→【○○委員】

- ・各家庭において取り組んでいるとは思うが、町として対策について検討し、対応していただきたい。

→【田中会長】

- ・リサイクルについては、町民の方の意識が大切であるが、企業努力としてリサイクルしやすい製品の開発も進んでおり、ごみを減らす取り組みをしている。町としても、しっかりととした対応をしていかないといけない。

● 【○○委員】

- ・P. 25 青少年健全育成の分野の「笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数」について、配布のみの目標となっており、配布後の活用についての評価がない。
- ・P. 25 芸術文化・文化財の分野において、芸術文化に関する目標は設定されているが、文化財に関する目標が設定されていない。

→【事務局】

- ・1点目の「笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数」については、目標設定時は配布枚数として設定している。活動内容としては、小中学生の登下校時等における挨拶運動や見守り活動を実施している。配布するだけでなく、配布したことでの効果があったかを検証する必要があるため、担当課へは配布による効果等について検証するよう伝えたい。
- ・2点目の文化財に関する目標については、第5次吉田町総合計画後期基本計画における実施計画事業は239事業あり、その中の主な分野の目標が掲載されている。芸術文化・文化財の分野については、芸術文化の目標のみ掲載されているが、文化財に関する内容についても文化財保護の観点から「文化財の標柱・案内看板の修繕」という目標を設定している。第6次吉田町総合計画前期基本計画においては、文化財に関する目標も掲載している。

→【○○委員】

- ・有形文化財の保護だけでなく、無形文化財の保護についても検討していただき、文化財保護に努めいただきたい。

→【事務局】

- ・有形文化財同様に無形文化財の保護も必要であるため、無形文化財の保護に関する具体的な取組内容について、担当課と協議させていただきたい。

● 【○○委員】

- ・P. 1 6 水産業の分野の「多目的広場の整備」について、今後のシーガーデンシティ構想の関係で動きがあると思うが、令和6年度の第1四半期内での部分的な供用を開始できる見込みとなったことに関する具体的な内容は。

→【事務局】

- ・多目的広場の一部供用開始については、駐車場やトイレの部分が供用済となっているが、全面供用には至っていない。全面供用に向けて、シーガーデンシティ構想の中でも官民連携を踏まえて検討していきたい。

● 【○○委員】

- ・P. 1 6 商工業の分野の「製造品出荷額」及び「商品販売額」について、今後の方針として、「利子補給を実施し、借入者の負担を軽減していく。」と記載されているが、利子補給のみに頼らず、低金利による事業の活性化についても検討した方がいいのでは。

→【事務局】

- ・利子補給により事業者の経営基盤の安定を図っている。第6次吉田等総合計画前期基本計画においては、利子補給に加え、事業者の経営改善の促進に向けた支援を積極的に行っていく。

● 【○○委員】

- ・P. 1 1 健康づくりの分野の「高血圧有病者の割合」について、実績値は2年遅れの数字を活用している理由は。

→【事務局】

- ・実績値については、特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書を引用しており、この報告書が遅れて公表されるため、このような表記となっている。

→【田中会長】

- ・表記がわかりづらい。2年遅れで実績値が反映するのはわかりづらいので、表記の方法について検討してください。

● 【○○委員】

- ・P. 1 7 観光の分野の「観光交流客数」について、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標値に達しなかったと考えられる。今後の方針として、「観光交流客数を増加させるよう努める。」と記載されているが、具体的な内容は。

→【事務局】

- ・本計画期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小等が多かった。第6次吉田等総合計画前期基本計画においては、多目的広場を活用したイベントの実施も含めて、観光交流客数の増加を図っていきたいと考えている。

● 【○○委員】

- ・P. 1 9 土地利用の分野の「ふじのくにフロンティア推進エリアの認定数」について、「吉田IC周辺や川尻海岸沿岸部を新拠点区域に設定し、他市町の拠点区域との周遊等も考慮しながら、良好な都市環境形成に向け拠点整備の推進を図ることができた。」と記載されているが、吉田IC周辺の

現状等について詳しく教えてほしい。

→【事務局】

- ・今まででは、企業活動維持支援事業地内への企業誘致や物資供給拠点確保事業地内への商業施設誘致を実施してきた。今後は推進区域や新たな拠点区域を連携させるエリアを作り、事業を進めていきたい。吉田ＩＣ周辺については、バスターミナルを整備し、公共交通の拠点を作り、町の玄関口としての事業を進めている。土地利用については、昨年度策定した第4次吉田町国土利用計画にも明記し、事業を進めていきたいと考えている。

● 【○○委員】

- ・P. 3 2 広報・広聴の分野の「町政報告会参加者数」について、令和2年度から5年度までは実施できず、今後の方向性として、「報告会の形にとらわれず、町民の意見を聞く機会及び方法を検討する。」と記載されているが、今年度の具体的な内容は。

→【事務局】

- ・現時点では、従来通り町政報告会を実施する予定。町政報告会だけでは、町民の皆様の意見を聞くことは難しいため、町ホームページからのお問い合わせフォームや地域からの土木要望等を活用していきたい。

● 【○○委員】

- ・P. 3 2 広報・広聴の分野の「ホームページアクセス件数」について、新型コロナウイルス感染症の影響で一時的にアクセス件数が増えていると推測される。今後実施する、ホームページのリニューアルや吉田町公式LINEによる積極的な情報発信について、具体的な内容は。

→【事務局】

- ・ホームページについては、昔から変化がなくアクセスしづらいという課題があり、今年度中にアクセスしやすいホームページに向けてリニューアルを行い、吉田町公式LINEによる積極的な情報発信と併せて事業を推進していきたい。また、外国人住民が増加していることから、外国語対応による情報発信も行っていきたい。

→【田中会長】

- ・町政報告会や町の情報発信について、自治会からの要望があれば、町と検討してほしい。

● 【○○委員】

- ・P. 2 0 公園・緑地・水辺の分野において、ハード整備に係る目標が記載されていないので、検討をお願いしたい。

→【事務局】

- ・主な分野の目標として「緑化イベント参加者数」を掲載しているが、ハード整備についても実施計画事業としては目標を設定している。第6次吉田等総合計画前期基本計画においては、能満寺山公園の整備について目標として記載している。本事業は公園整備の重点事業として推進していく予定。

→【田中会長】

- ・今後、総合計画に関する評価を実施する際は、掲載されている主な実施計画事業だけでなく、すべての実施計画事業において評価を実施してほしい。

● 【○○委員】

- ・ P. 8 地震・防災対策の分野の「シーガーデン（海浜回廊）の盛土整備率」について、防潮堤の整備率という理解でよいか。令和3年度に川尻防潮堤が完成して50%となっており、残りの10%の内容は。また、第6次吉田等総合計画前期基本計画においては、引き続き、目標として実施していくのか。

→【事務局】

- ・ 盛土整備率は、防潮堤の整備率という認識で問題ない。残りの10%については、住吉防潮堤の着手を検討してが、国や県といった関係機関との調整が難航しており、50%という結果になっている。また、第6次吉田等総合計画前期基本計画においては、引き続き、住吉防潮堤の完成に向けて事業を推進していく。

→【田中会長】

- ・ 担当課としても割合の根拠は持っているのか。

→【事務局】

- ・ 目標を設定する際に、総延長距離に対する割合で設定している。

● 【○○委員】

- ・ P. 16 商工業の分野と P. 18 企業誘致の分野は関連していると思う。商工会には約700事業所が加盟しており、小規模事業者の成長・育成が重要だと認識している。これまでには、大企業の誘致により税収を高めていたが、小規模事業者の成長・育成を高める目標があつてもいいと思う。

→【事務局】

- ・ 企業誘致については、引き続き、実施していきたい。小規模事業者の成長・育成については、利子補給や産業振興補助金の活用によって、活性化を図っていきたいと考えている。商工会によるイベントについても、カムカム補助金を活用した支援を行っていきたい。また、官民連携事業についても地元事業者を活用としたローカルPFI事業を検討している。なるべく地元密着による事業展開を行っていきたい。

→【○○委員】

- ・ 就労人口が減少する中で、小規模事業者的人材確保が難しくなっているので、そちらについても検討をお願いしたい。

→【事務局】

- ・ 企業セミナー等を通じて、協力していきたい。

→【○○委員】

- ・ ここ10年くらいで、大企業と中小企業の企業間格差が広がっている。引き続き、中小企業に対する支援をお願いしたい。

● 【田中会長】

- ・ P. 16 商工業の分野の「製造品出荷額」について、令和2年度と3年度、令和4年度と5年度に同じ数字が入っている。同様に「商品販売額」についても、令和2年度と3年度、令和4年度と5年度に同じ数字が入っている。データがなく、前年度の数字が入っていると思われるが、その場合、データのない年度は「-」にしないと勘違いする可能性がある。

→【事務局】

- ・当初「一」の検討もしたが、実績値がわからないとの見え方になるため、前年度と同様の数字を入れているが、ご指摘のとおりわかりづらい可能性があるため、一度検討したい。

→【田中会長】

- ・実績値がわからないのに数字を入れることは誤った情報を出していることになるので、表記の方法は注意してほしい。

● 【〇〇委員】

- ・P. 2 1 生活交通の分野の「町内バス停の乗降者数」について、「町外からバスで訪れる方への乗継ぎを容易にし、町内バス停の乗降者数の増加に努める」と記載されているが、具体的な内容は。

→【事務局】

- ・“ぎゅっと”カーよしだの実証実験において、町内のイベントでも活用しており、町外から来た方が町内を回る際に、どのように活用するかも検証していきたい。

9.2. 第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書について

事務局より、「資料No.2 第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書」について説明をした。

● 【田中会長】

- ・P. 2 1 魅力ある教育システムの構築と質の高い教育の充実の分野の「住民が幼児教育の充実に満足している割合」について、目標値の80.0%に対して、実績値が39.1%である。かなり低い数字に見えるが、誰を対象とした調査を実施した結果なのか。幼児教育の対象となっている保護者を対象としているのか、町民全体を対象としているのか。

→【事務局】

- ・実績値の算出については、企画課で実施している住民意識調査を基に算出しているため、対象者は町民全体となる。

→【田中会長】

- ・幼児教育の対象となっている保護者に調査した場合、結果は変わってくるのではないか。そもそも幼児教育の対象でない人に調査した結果の数字を使うことに疑問を感じる。

→【事務局】

- ・幼児教育に関心のない方の意見も入っている可能性はある。担当課に対象者を絞った調査を実施しているか確認する。

● 【〇〇委員】

- ・P. 2 7 地域密着型介護サービスの充実の分野の「介護老人施設の入所待機者数」について、目標値の0人に対して、実績値が5人である。入所者の方の状況等により施設の空き状況は変化するが、待機者の方がどのくらいの期間待っているのか気になる。在宅サービスを利用し、在宅サービスの限界を感じてから入所することが、現在の地域包括ケアシステムである。入所までの待機期間について検討していただけるといいと思う。

→【田中会長】

- ・重要なご指摘だと思う。事業者の立場からすると、一定期間の待機者が出ることは必要である。ＫＰＩや目標値を変更することは考えているか。

→【事務局】

- ・施設の空き状況等により待機者が出ることは理解している。併せて、在宅での支援の必要性も理解している。令和5年度の実績値を算出した時に、待機者が5人いた状況であったが、その後の調整等により、すべての待機者が入所できている。時点により実績値が異なることは評価としてよくないと思うので、一度検討させていただきたい。

→【田中会長】

- ・担当課と協議して検討してください。

● 【〇〇委員】

- ・資料No.1のP. 2 4学校教育の分野の「全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差」について、「教職員は、児童生徒に対して、知識や技能を定着させるための適切な指導を行うよう努めているが、全国学力・学習状況調査の結果に十分に反映させることができなかつた」と評価している。一方で、資料No.2のP. 2 1魅力ある教育システムの構築と質の高い教育の充実の分野の「住民が学校教育の充実に満足している割合」について、「各学校の実情に合わせて支援員を配置したことにより、教職員が授業等に専念できる環境を整えることができた」と評価している。この2つは矛盾しているのではないかと思う。

→【事務局】

- ・資料No.1については、全国学力・学習状況調査に対し、教職員は適切な指導を行ったが結果は出なかつたと評価している。資料No.2については、ＩＣＴを活用した授業に対する教職員の支援を行い、教職員が授業に専念できる環境を整えたと評価している。

→【〇〇委員】

- ・なぜ全国学力・学習状況調査の結果に反映しないのか。担当課と協議して、明確な回答をいただきたい。

→【事務局】

- ・了承。

→【〇〇委員】

- ・教育に関する本質的な内容なので、担当課と協議してほしい。

● 【〇〇委員】

- ・P. 1 9妊娠、出産について正しい知識の普及の分野の「母子健康手帳の交付数」について、実績値の184件は妊娠された方でよいか。

→【事務局】

- ・そのとおり。

→【〇〇委員】

- ・少子化が進むことがわかっている中で、母子健康手帳の交付数を目標とする必要があるのか。例えば、具体的な施策について不妊治療及び不育症治療の実施を掲げているなら、その内容に沿った目標にするべきではないか。

→【事務局】

- ・本計画を策定した時は、人口ビジョンに基づき、人口の増加が見込まれると想定していた。不妊治療及び不育症治療を必要とする方の支援も踏まえて、母子健康手帳の交付数を目標としている。

→【田中会長】

- ・出生数を増やすことを目標としていると思うが、出生数を増やすことを目標とすることについては、様々な意見がある。次期戦略を策定する際は、再検討してほしい。

● 【吉良オブザーバー】

- ・資料No.1のP. 8 地震・防災対策の分野の「吉田町地域防災指導員養成講座及びジュニア防災士養成講座受講者数」について、目標値の500人を令和2年度に達成している状況である。当初4年間かけて目標値を達成する予定であったが、計画期間内で目標値が達成された場合は、目標が達成されたので内容を変更するか、目標値を上方修正することも考えられる。
- ・資料No.1のP. 11 健康づくりの分野の「高血圧有病者の割合」について、来年度実施する総括評価に対し、2年前の数値を使った評価は難しいと思う。ただし、総括評価として、傾向を示すことはできるので、数値を参考とした評価について検討してほしい。
- ・住民意識調査については、県でも県民意識調査の結果を目標としている施策もあるが、効果が意識の醸成に必ずしもつながるものではない。しかしながら、住民の意識を知るという重要な指標である。

→【事務局】

- ・今年度からスタートしている第6次吉田町総合計画においては、町民の皆様へ伝わりやすいような指標や数値の設定に心がけている。

9.3. 第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

事務局より「資料 No. 3 第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（R 6. 8 改訂版）」、「資料 No. 4 第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版の新旧対照表」を説明した。

● 【田中会長】

- ・第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂については、本質的な改訂でなく文言等の修正なので異論はないと思います。
- ・2点確認したい。1点目は、現行の指標に関する意見が出た部分については、今年度中に改訂されるのか。2点目は、今回の会議をもって改訂となるのか。

→【事務局】

- ・今年度で計画期間が終了となる。来年度、総括評価を行う上で、指標を変更したことにより評価に影響が出るかを検討したいが、残り1年で指標を変更することは難しいと思われる。次期総合戦略を策定する際には、意見を参考にした指標設定を行いたい。

→【田中会長】

- ・指標や目標値を変更するのは難しいと思う。しかし、過去のデータが使用されるのはおかしいので、表記の仕方については変更してほしい。

→【事務局】

- ・そういう部分については変更していきたい。変更した内容については、再度委員の皆様にお示しで

きるよう検討したい。

→【田中会長】

- ・その場合、次回の審議会に最終案が出てくるとの認識でよいか。次回の審議会は、次期総合戦略の骨子案に関する審議と伺っている。

→【事務局】

- ・今回の意見に対する回答案については、どこかで委員の皆様へお示しする必要がある。次回の会議でお示しするか、書面でお示しするかを検討したい。

9.4. 次期吉田町総合戦略」について

事務局より「資料 No. 5 次期総合戦略」を説明した。

● 【田中会長】

- ・国の計画変更に伴い、町の計画を変更するもので、デジタル推進による内容が必要であると認識している。現行計画の体系やK P Iについては、問題がないものは引き継がれるということですか。

→【事務局】

- ・大きな方向性は、そのとおりである。総合計画と関係性を持たせるイメージで指標を設定していく予定。

→【田中会長】

- ・スケジュール的に第3回の審議会までには、素案が固まると思う。次回の審議会は骨子案の審議となっているが、完成度の高い骨子案について審議が必要である。

以上